

医療制度改革に関するシンポジウム

「新型コロナウイルス感染症拡大による 医療の現状から『地域医療構想』を考える」

2019年12月に公表された全世代型社会保障実現検討会議の中間報告では、医療提供体制の改革の具体策として「地域医療構想の推進」が掲げられています。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により「医療崩壊」が取り沙汰される中、改めて、日本の医療提供体制、特に病床数削減、病床数に応じた医師・看護師の人員削減などの医療費抑制政策が問われています。

医療の現場では、公立・公的病院の再編統合、民間病院の経営破綻、医師不足、看護師のメンタルヘルス不調、受診抑制、高所得層と低所得層の「健康格差」等の問題が顕在化しています。

本シンポジウムでは、病床数の削減など地域医療の縮小を進める政府の施策の問題等について認識を深めたいと思います。ぜひご参加ください！

2020年 **11月5日** **木** **18:00-20:00**

※ZOOMウェビナーによるオンライン形式にて開催いたします。

講演

長友 薫輝 氏 (三重短期大学生活科学科教授)

「医療保障の充実に向けて

～新型コロナウイルス感染症への緊急対策から」

森田 進 氏 (日本医療労働組合連合会書記長)

「医療崩壊の現場の状況」

貧困問題対策本部委員

「医療制度改革をめぐる情勢と社会保障グランドデザイン」

申込

● **参加無料**

下記URLまたはQRコードからお申し込みください。
(申込期限：2020年10月29日(木))

<https://form.qooker.jp/Q/auto/ja/sympoiryou/iryou/>



お問い合わせ先

日本弁護士連合会 人権部人権第一課

TEL 03-3580-9501